

旬

9/15

な農産物でにぎわう駅前

幸田駅前銀座朝市

幸田駅前銀座南側歩道で、町産農産物のPRと幸田駅前のにぎわい活性化のため、朝市が開催されました。幸田町若手農家グループ「旬果集稲」はナシ、ブドウ、イチジク、ナス、米、ランなどの旬な農産物を販売し、商工会は夢やまびこ豚を使った「幸田角煮バーガー」を販売しました。幸田角煮バーガーは、4店舗で販売されているメニューの計110食が完売しました。



↑朝市の様子



↑100歳の石川さん（左）

ご

9/19

長寿のお祝い

敬老の日のご長寿のお祝いとして、町内に住む85歳以上の1,315人を対象に、長寿祝の記念品が民生委員のご協力で届けられました。また100歳以上の20人のうち、石川みつさんには、町長より記念品が渡されました。石川さんの健康の秘訣は、畑作業や草取りなどをして体を動かすことで、地元の敬老会へは自分の足で行けるほどお元気だそうです。

す

9/22

てきなモノとの出会い

相見駅 マルシェ「torico」(とりこ)

相見駅東口側の駅前広場で、マルシェ「torico」(とりこ)が開催されました。このマルシェには町内外から雑貨店、洋服店、コーヒーショップなど36店舗が出店しました。当日は天候が心配されましたが、多くのお客さんが来場し、にぎわいを見せていました。来場者や出店者はたくさんのモノとの出会いを通してこの野外イベントを楽しんでいたようです。



↑大勢の人でにぎわう相見駅前広場



自

9/23

慢の筆柿、いざ出陣！

幸田町特産品「筆柿」初出荷

町の特産品である筆柿の初出荷が、JAあいち三河幸田営農センター内の筆柿選果場で行われました。前日に収穫して選果場に持ち込まれた筆柿を選果ラインに載せて、まずは人間の目で傷をチェックした後、近赤外線による光の透過量で柿の甘・渋を判別し、箱詰めを行いました。昨年より実の数が少ないですが、特徴である甘さは変わらないそうです。町内では幸田憩の農園や道の駅 筆柿の里・幸田で販売されています。



↑筆柿の検査が行われます



↑芦谷公民館付近に飾られたかかしと制作された皆さん

安

9/27

心・安全見守り隊！

いきいきサロンでかかし制作

町生活学校の主催により、いきいきサロンでかかしが制作され、芦谷公民館付近に飾られました。かかしはいきいきサロンの参加者21人で作られ、参加者の中には99歳の人もありました。かかしの制作は平成26年から続いているようで、竹とペットボトルで骨組みを作り、服を着せ、顔を描いて完成です。参加者は来年はどんなかかしを作ろうか楽しみにしていました。飾られたかかしは、道行く人の安全を見守っていたようでした。

広

9/29

げよう、ボランティアの輪

第15回幸田福祉ボランティアまつり

第15回幸田福祉ボランティアまつりが中央公民館で開催されました。町内外で活動しているボランティア団体が集まり、要約筆記、高齢者疑似体験などの体験コーナーや、各団体の活動紹介、福祉用具の紹介などの展示ブースでそれぞれの活動内容をPRし、お互いの活動を紹介するなど交流を深めました。



↑点字体験の様子